

あなたががんになったら

～患者と家族をみんなで支える“医療コミュニケーション”～

2019年11月16日（土）12:40-14:20

テレコムセンタービル西棟8階会議室C（ゆりかもめ「テレコムセンター駅」直結）

今はふたりにひとりががんの診断を受けるといいます。医療は進み、“医療コミュニケーション”といって、患者や家族を医療関係者など皆で支える仕組みも整いつつあります。医療コミュニケーションについて、グループディスカッションをしながら、一緒に考えてみませんか。予備知識はいりません。互いに思っていることを聞いたり話したりして、病気の人を支え、病気の人もそうでない人も共生できる社会について考えてみましょう。



話題提供：「医療コミュニケーションという考え方」

くすりの適正使用協議会 理事長 俵木登美子 さん

事例紹介

聖路加国際病院 遺伝カウンセラー 鈴木美慧さん

東京大学医科学研究所附属病院

がん化学療法看護認定看護師 都留由香里さん



定員40名。 参加費無料。

当日受け付け(20名) も行いますが、できるだけメールで事前にお申込みください。お名前、ご連絡先をご記入の上、メール [_ \(bio@life-bio.or.jp\)](mailto:bio@life-bio.or.jp) をお送りください。

問合せ：NPO法人 暮らしとバイオプラザ21 HP <http://www.life-bio.or.jp/index.html>
tel 03-5651-5810, fax 03-3669-7810, mail bio@life-bio.or.jp